

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	1	2	農林業	生産基盤の整備
実施計画事業名					
農道整備事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	05	農道整備事業	
担当課・係等					
農政課 基盤整備係					

実施計画整理番号	
301010201	
総合戦略整理番号	

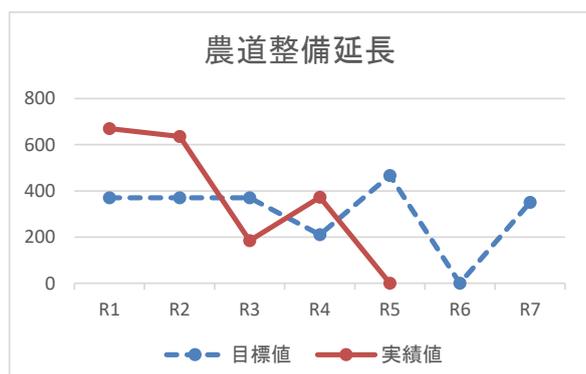
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	農業者及び農道利用者の利便性が向上されることで、農作業の省力化や生産性の向上が図られる。	幹線道路の早期整備と支線道路の舗装を推進するとともに、既存農道の適正な維持管理に努める。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

農業生産者の減少と高齢化による人材不足が喫緊の課題となっており、耕作放棄地の増加を招いている。農道整備を実施することで、農作業の省力化や生産性の向上など、農業経営の改善を図ることで営農意欲が高まり、ひいては施策「生産基盤の整備」に寄与する。

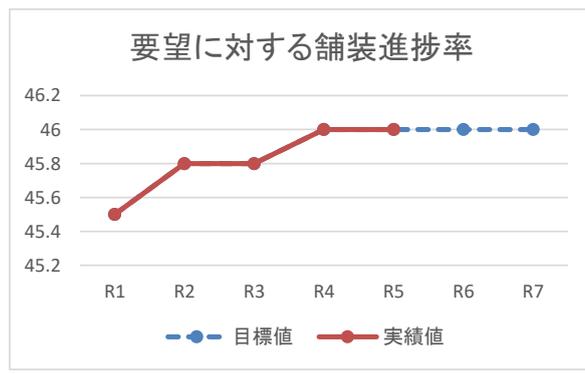
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,300	3,069	1,680						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,300	3,069	1,680						
	人工数	人		0.16							
	人件費	千円		1,226							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
幹線道路の早期整備と支線道路の舗装を推進するとともに、既存農道の適正な維持管理に努める。	農道整備延長	目標値	210	467	0	350
		実績値	373	0		
	舗装面積	目標値	630	1,273	0	921
		実績値	1,027	0		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
農作業の省力化や生産性の向上など、農業経営の改善を図り営農意欲を高める。	要望に対する舗装進捗率	目標値	46.0	46.0	46.0	46.0
		実績値	46.0	46.0		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	1	2	農道整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	05	農道整備事業

整理番号
301010201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>令和4年度に舗装を実施した、上永吉地先に境界杭を設置した。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・整備要望が多い中で、路線の重要性、利用頻度等を考慮し、適切な事業実施に努める必要がある。 ・引き続きコスト削減が図られるよう努める必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	①業務の整理・統合・集約化
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・路線の重要性、利用頻度等を考慮し、適切な事業実施に努めていく。 ・農道舗装に対する国等の補助事業の要件に該当するよう、関係機関と協議していく。 	
企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>既存農道の維持管理を行うことで、生産基盤の整備に一定の成果があったと認められる。引き続き現状把握に努めていただくとともに、補助金の活用等、コスト削減についても検討していただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	1	3	農林業	生産基盤の整備
実施計画事業名					
用排水施設整備事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	05	01	用排水施設整備事業	
担当課・係等					
農政課 基盤整備係					

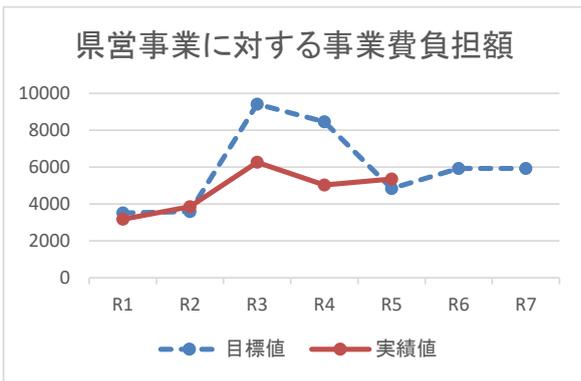
実施計画整理番号	
301010301	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>受益農家に対し、湛水被害の解消と維持管理の軽減を図る。また、安定した用水を供給することにより、農業経営の安定を図る。</p>	<p>農業施設の新設及び改修を行う県営事業に対し、事業費の負担をする。</p>
	<p>基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)</p> <p>土地改良事業への理解と農業基盤の強化に取り組んでいるが、農業用排水路やため池が老朽化しており、早期整備が課題となっている。用排水施設整備事業を実施することで、農作業の省力化や生産性の向上など、農業経営の改善を図ることで営農意欲が高まり、ひいては施策「生産基盤の整備」に寄与する。</p>	

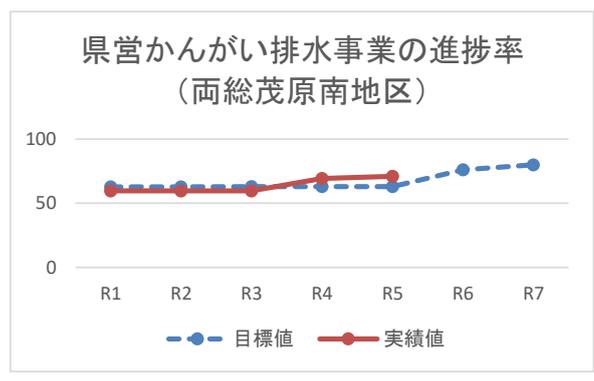
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	34,359	55,777	54,859						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円	21,900	21,900	35,100						
	その他	千円									
	一般財源	千円	12,459	33,877	19,759						
	人工数	人	0.49								
	人件費	千円	3,754								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
			目標値	実績値	目標値	実績値
<ul style="list-style-type: none"> 県営事業の整備促進を図るため、事業費負担を実施する。 用排水施設整備を実施する。 	県営事業に対する事業費負担額	千円	8,466	4,842	5,923	5,923
	用排水施設整備の件数	件	2	1	2	2
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
安定した用水を供給することにより農業経営の安定を図る。	県営かんがい排水事業の進捗率(両総茂原南地区)	%	63	63	76	80
			69	71		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	1	3	用排水施設整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	05	01	用排水施設整備事業

整理番号
301010301

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県営事業の整備促進のため事業費負担を実施し、用排水施設整備を5件行った。 ・ 地元自治会や関係者への説明・協議を行っている。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業用施設の整備には多額の費用を要することから、計画的な事業実施に努める必要がある。 ・ 引き続き、県営事業や国の交付金を活用することでコスト削減を図る必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的な事業実施のため、地元関係者及び関係機関との連携に努める。 ・ 国・県の交付金活用のため、より一層の情報収集に努める。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 用排水施設整備により生産基盤の整備に一定の成果があったと認められる。引き続き交付金活用によるコスト削減に努めていただきたい。	

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	1	3	農林業	生産基盤の整備
実施計画事業名					
用排水施設維持管理費					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	06	用排水施設維持管理費	
担当課・係等					
農政課 基盤整備係					

実施計画整理番号	
301010302	
総合戦略整理番号	

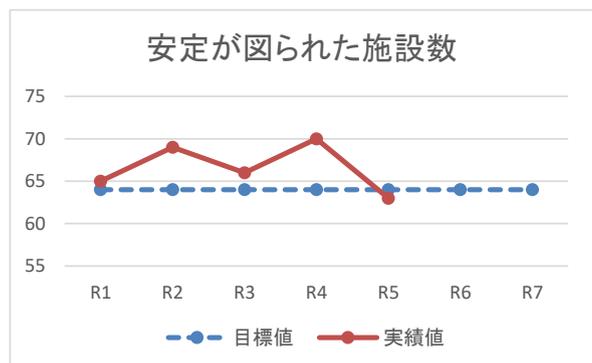
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>土地改良区・水利組合・自治会等の共同施行者が管理する農業用施設の維持管理費に対し、地元施工者の軽減を図り、農業基盤の安定を図る。</p>	<p>地元施工による農業用施設の維持管理費に対し、補助金を交付する。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>土地改良事業への理解と農業基盤の強化に取り組んでいるが、農業用排水路やため池が老朽化しており、早期整備が課題となっている。地元施工による農業用施設の維持管理費に対し、補助金を交付することで、農作業の省力化や生産性の向上など、農業経営の改善を図ることで営農意欲が高まり、ひいては施策「生産基盤の整備」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	55,421	56,867	54,512						
	国補助	千円									
	県補助	千円	26,633	26,633	25,957						
	市債	千円									
	その他	千円	8,825	8,825	8,100						
	一般財源	千円	19,963	21,409	20,455						
	人工数	人	0.94								
	人件費	千円	7,202								

手段 (DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
土地改良区・水利組合・自治会等の共同施工者が管理する農業用施設の維持管理に対し、地元施工者の負担軽減を図るため、地元施工による農業用施設の維持管理に対し、補助金を交付する。		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
		箇所	64	64	64	64
農業用施設の維持管理費に対し、地元施工者の負担軽減を図り、農業基盤の安定を図る。	安定が図られた施設数	目標値	70	63		
		実績値				

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	1	3	用排水施設維持管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	06	用排水施設維持管理費

整理番号
301010302

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・地元農業団体が管理する農業用施設70か所について、維持管理に対する補助等を実施した。
- ・地元自治会や関係者への説明・協議を行っている。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・今後も老朽化施設の増加に伴うコスト増が予想される。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

引き続き、地元関係者と連携を図るとともに、農業用施設の計画的な維持管理について、適切な補助金交付により農業基盤の安定を図っていく。

企画政策課の評価	評価理由
A	維持管理費に対する補助により、生産基の整備に一定の成果があったと認められる。引き続き、適正な補助金交付に努めていただきたい。

A: 計画どおり事業継続が
適当
B: 事業改善の検討が必要
C: 事業の休止・廃止の検討が必要
D: 事業終了が適当

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	2	2	農林業	農地の確保
実施計画事業名					
農業経営基盤強化促進事業					

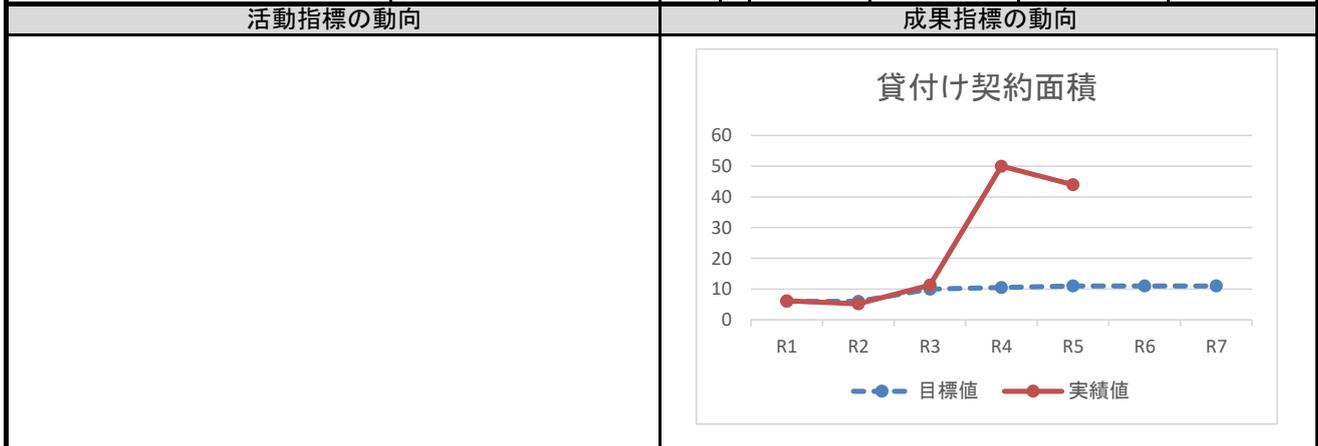
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	02	農業経営基盤強化促進事業	
担当課・係等					
農政課 農地保全係					

実施計画整理番号	
301020201	
総合戦略	
整理番号	

事務事業の概要	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
(PLAN)	農地中間管理機構を利用して農地の集積・集約を推進することで、耕作放棄地の発生抑制が図られ、農地の保全につながる。	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市農業振興地域整備促進協議会を開催し整備計画変更協議をする。 ・農地中間管理機構を利用した者に対して協力金を交付する。 ・担い手への利子補給を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	農業生産者の減少と高齢化による人材不足が喫緊の課題となっており、耕作放棄地の増加を招いている。農地中間管理事業を実施することで、農地の集積・集約が図られ、農業経営の基盤強化を促進し営農意欲が高まり、ひいては施策「農地の確保」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
			事業費	千円	345	345	203				
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円	42	42	32						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	303	303	171						
	人工数	人	0.09								
	人件費	千円	690								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
農地中間管理機構と業務委託契約を締結し、専門職員を配置することで担い手への集積を強化し、耕作放棄地の抑制や解消を図り、優良農地の確保に努める。また、担い手への利子補給を行う。		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
		ha	11	11	11	11
		実績値	50	44		



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	2	農業経営基盤強化促進事業	

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	02	農業経営基盤強化促進事業

整理番号
301020201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・令和3年度より農地中間管理機構と業務委託契約を締結し、農地を貸し付けた地域及び個人を支援しているが、令和4年度より、地域タイプ(地域計画を策定した区域、または地域計画の策定に向けた協議の場を設けている区域を対象としてまとまった農地を農地中間管理機構へ貸し付ける場合に交付)と一体的に取り組む場合のみに交付されることになり、事業を実施する地域や個人がいなかったが、補助の対象とならない農地中間管理機構利用者は、43.6haの集積を行った。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・農地中間管理機構との業務委託契約により、担い手への農地集積・集約の推進が図られた。 ・農地の貸し借りをを行う際に詳細な条件面でのマッチングが合わないケースや、既に耕作放棄地となっているなど現状により事業対象農地とならないといったことがあった。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>農地中間管理事業の周知を強化することにより、より多くの様々な条件の農地を集め、母数を増やし、マッチングがうまく進むよう努める。</p>	
企画政策課の評価		評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	農地中間管理事業により、農地の集約・集積に一定の成果があったと認められる。引き続き適切な補助に努めるとともに、効果的な周知方法について検討していただきたい。

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	3	3	農林業	経営体と担い手の育成
実施計画事業名					
農業者育成支援事業					

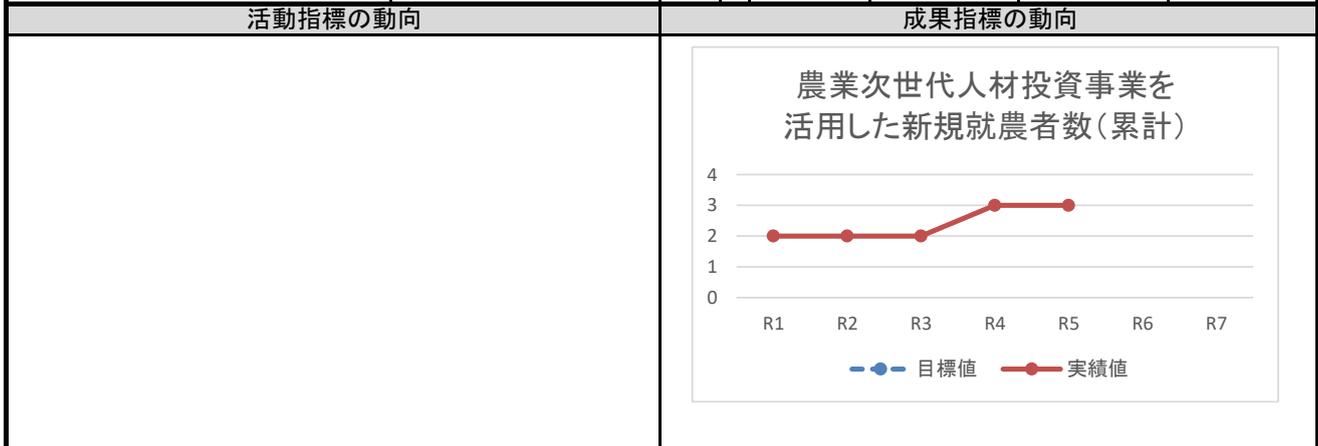
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	09	農業者育成支援事業	
担当課・係等					
農政課 振興係					

実施計画整理番号	
301030301	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	新規就農者には技術の習得や所得の確保が課題となっていることから、国の新規就農総合支援事業を活用し、農業次世代人材投資事業の資金の交付を行い、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・農業次世代人材投資資金を交付する。 ・チラシでの周知や千葉県立農業大学校での事業周知を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するにあたり、新規就農者を増加させる必要がある。新規就農するにあたって、就農直後の所得の確保が課題となっていることから、就農に向けた経営開始資金の交付を行うことで、新規就農者の増加につなげ、ひいては施策「経営体と担い手の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
			事業費	千円	15,000	26,418	25,665				
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円	15,000	26,418	25,665						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円									
	人工数	人	0.67								
	人件費	千円	5,134								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
茂原市のPR及び新規就農促進を図るため、チラシでの周知や千葉県立農業大学校に伺い茂原市の魅力を伝えることで、新規就農者確保に努める。			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
			増加を指します	増加を指します	増加を指します	増加を指します
担い手不足の解消及び新規就農者確保につなげる。	農業次世代人材投資事業を活用した新規就農者数(累計)	人	実績値	3	3	



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	3	3	農業者育成支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	09	農業者育成支援事業

整理番号
301030301

課題抽出(CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・千葉県立農業大学校に出向いての説明会や、農政課窓口での就農相談を行う際に、本市がネギの産地であることや、地域性を具体的に説明し、PRを行ったことにより、ネギ生産を行う3名が就農した。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・本市における農地全体の8割は水田であるが、水稻に比べ園芸の方が生産しやすいことから、水稻の新規就農者が少ない。</p>		

今後の方向性(ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・新規就農相談者に対して、資金面の支援だけではなく、技術支援や専門情報の提供を積極的に行い、就農しやすい環境を整え、新規就農者の増加を図る。 ・近年の傾向として、移住をしての就農を検討している相談者もいることから、広域的に周知するPR方法を検討していく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center; margin-bottom: 10px;">A</div> <p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>資金の交付や事業周知により新規就農者の増加に一定の成果があったと認められる。引き続き支援を行っていただくとともに、効果的なPR方法についても検討していただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	1	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
需給調整推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	01	需給調整推進事業	
担当課・係等					
農政課 振興係					

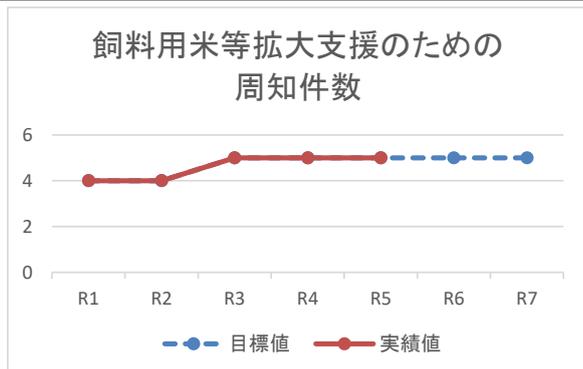
実施計画整理番号	
301040101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>茂原市地域農業再生協議会及び農業者に対して、新規需要米の作付けなど需要に応じた米の生産や、転作作物の作付けによる食料自給率向上の取組を推進し、農業者の経営改善を目指す。</p>	<p>茂原市地域農業再生協議会に需要に応じた米の生産や転作作物の作付けによる食料自給率向上の取組推進・確認のための事務経費の補助、取組を実施した農業者には対象となる経費の補助を行う。 新規需要米等の転作に取組む生産者に対し補助金を交付する。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	茂原市地域農業再生協議会や農業者に対して経費等の補助を行うことで、需要に応じた米の生産や転作作物作付けによる食料自給率向上の取組の推進を図り、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。	

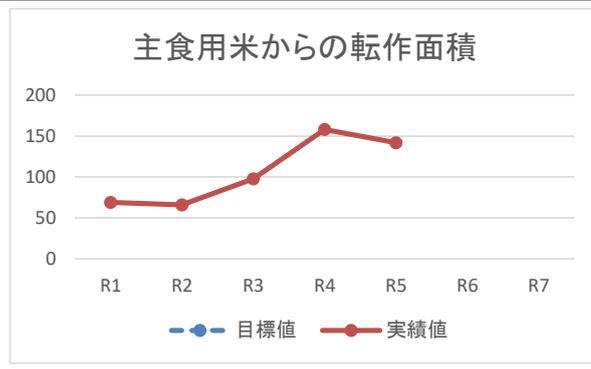
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	10,750	10,750	8,348						
	国補助	千円									
	県補助	千円	6,593	5,555	4,618						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	4,157	5,195	3,730						
	人工数	人	0.97								
	人件費	千円	6,678								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
農家組合と連携を図りながら、パンフレットの配布や集落等への説明会を実施し、飼料用米等拡大支援事業や経営所得安定対策の推進に努める。	飼料用米等拡大支援のための広報等による周知件数	件	5	5	5	5
		実績値	5	5		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
主食用米から、飼料用米等への作付けによる農業者の経営改善が図られる。	主食用米からの転作面積	ha	増加を 目指します	増加を 目指し ます	増加を 目指します	増加を 目指します
		実績値	158	142		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	4	1	需給調整推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	01	需給調整推進事業

整理番号
301040101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・主食用米の価格安定と食料自給率の向上を図るためには、米の需給調整は重要な要素であり、飼料用米等の取組を支援することで、生産の推進を図ることができた。</p> <p>・農家組合と連携し、市内の全農家に対して需給調整等に関する情報を周知した結果、主食用米からの転作面積が前年度より増加した。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・飼料用米等の作付けが拡大したことで、米価の安定に繋がるかは不透明な部分も多いが、本市の土地質としての転作作物、飼料用米等への作付けを更に推進する選択肢が有効であると考えられる。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・コロナ禍による影響などにより、引き続き不安定な米価が予想されることから、飼料用米等の転作作物の取組者を支援し、生産拡大を図るとともに、農家組合と連携し、需要に応じた米の生産に関する情報を周知する。また、各種補助事業や経営所得安定対策を推進するため、農家への周知や確認事務等を円滑に実施する。</p> <p>・引き続き、飼料用米等への作付けを推進するためには、上乘せ給付や農業機械導入の補助等を検討していく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center; margin-bottom: 10px;">A</div> <p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>経費の補助により転作作付けに繋がり、農業者の経営改善に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援を行うとともに、効果的な周知に努めていただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	2	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
稲作生産効率化促進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	03	稲作生産効率化促進事業	
担当課・係等					
農政課 振興係					

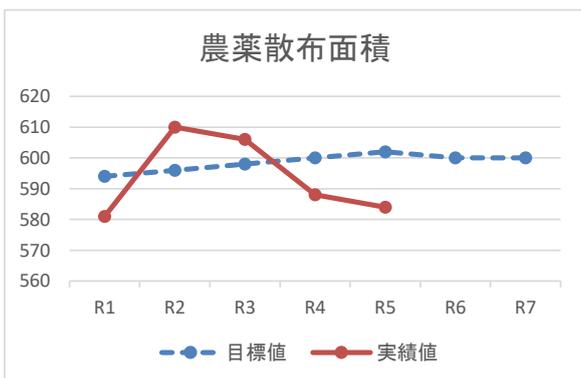
実施計画整理番号	
301040201	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	産業用無人ヘリコプターによる薬剤の空中散布を実施することで農作業の省力化を図り、米の安定的な収穫と品質の向上を図る。	産業用無人ヘリコプターによる病虫害防除を実施する。農家負担額を長生郡内で同一水準にするよう補助金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	本市における農地全体の8割は水田になっており、米の生産には作業の手間暇が多いため作業の省力化を図り、米の安定的な収穫と品質の向上を図る必要がある。個人による水田の農薬散布の実施については、水田の面積が多く個人による農薬散布は重労働であり時間もかかることが課題となっていることから、本市が散布農地を取りまとめ短期間で一括して産業用無人ヘリコプターによる薬剤の空中散布を実施し作業の効率化を図ることで、米の安定的な収穫と品質の向上につなげ、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。	

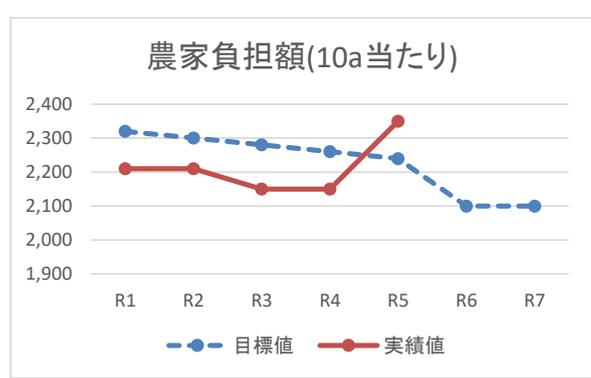
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,083	3,083	3,083						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,083	3,083	3,083						
	人工数	人	0.67								
	人件費	千円	4,578								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
産業用無人ヘリコプターによる薬剤の空中散布を実施するにあたり最大の効果と効率を図る為、航空防除の必要性を農家に広く周知し農薬散布面積の拡大に努める。	農薬散布面積	h	600	602	600	600
		a	588	584		
			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
農家負担額を減らし、更に取り組みやすい空中散布につなげる。	農家負担額(10a当たり)	円	2,260	2,240	2,100	2,100
			2,150	2,350		
			目標値			
			実績値			

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	4	2	稲作生産効率化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	03	稲作生産効率化促進事業

整理番号
301040201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・航空防除実施に伴い周知方法として、農家組合回覧、自治会回覧、広報、市公式ウェブサイトで周知を行ったが、情報発信ツールとしているFacebookの掲載を加え、市民がより情報を得やすくなるように努めた。</p> <p>・航空防除を適切な時期に実施し、より効果的な散布をすることで、米の安定的な収穫と品質の向上につなげた。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・航空防除については、安全面に十分留意するとともに、効率的な作業実施により目的を達成した。一方で広報などを使用し、航空防除の実施について広く事前に情報発信をしてきたが、中には情報を受信できていない方もいる。</p> <p>・昨今の物価高騰による農薬の価格高騰は、農業者の費用負担増につながっている。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・ラジコンヘリからドローンに切り替え、実働の省力化や、農家組合の負担軽減、人件費の削減を行う。</p> <p>・今後においても安全な作業実施と、米の安定的な収穫と品質の向上に努める。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p>	
<p>効率的な航空防除により農作業が省力化されており、農業経営の改善に一定の成果があったと認められる。引き続き、より効率的な方法及びその周知方法について検討していただきたい。</p>		

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	3	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
園芸農産振興事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	04	園芸農産振興事業	
担当課・係等					
農政課 振興係					

実施計画整理番号	
301040301	
総合戦略整理番号	

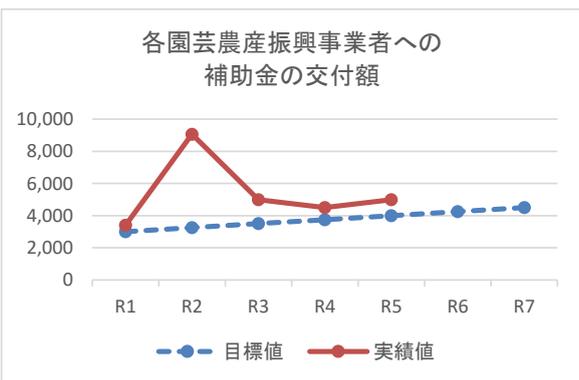
事務事業の概要(PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
良質な農産物を生産するためには機械化による生産の効率化が必須となっている。また、現在使用している機械の老朽化も激しく、各生産組合の生産者は高齢化も進んでいる。各組合を支援して産地間競争を制する産地化を目指す。農業活動において排出される廃プラスチックの適正な処理を推進する。		各生産組合が実施する施設設置や機械導入、農業振興事業に対して補助金を交付する。 茂原市廃プラスチック対策協議会が実施する適正な廃プラスチック処理に対し補助金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	農業従事者の高齢化が急速に進展する中、現在使用している機械や園芸用の施設の老朽化が激しく、良質な農産物を生産するにあたり、機械化及び施設園芸の高度化により生産を効率化させる必要がある。各生産組合に対して支援をして、既存産地の生産力の向上及び産地力の強化につなげ、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,067	1,067	499						
	国補助	千円									
	県補助	千円	150	150	23						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	917	917	476						
	人工数	人	0.28								
	人件費	千円	2,145								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
園芸農産振興を図るため、各生産組合や農業者に対して広く補助の周知に努める。	各園芸農産振興事業者への補助金の交付額	千円	3,750	4,000	4250	4500
			実績値	4,499	4,989	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
既存産地の生産力の向上及び産地力の強化を図る。		目標値				
		実績値				

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	4	3	園芸農産振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	04	園芸農産振興事業

整理番号
301040301

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・園芸農産振興を図るため、各生産組合や農業者に対して補助の周知に努め、2団体に対して農業振興事業についての補助金を交付した。</p> <p>・園芸農業の生産力強化拡大をするため、認定新規就農者に対して、生産用施設・省力機械に対して助成した。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・県単独の園芸に対する補助はあるが、要件が厳しく取り組みにくいいため、より効果的に支援を実施し、さらなる既存産地の生産力の向上及び産地力の強化につなげる必要がある。</p> <p>・農業者の高齢化や担い手不足の深刻化は継続的な懸念であることから、引き続き支援が必要である。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・今後において、離農が進み、担い手不足に拍車がかからないよう、営農規模の維持、拡大等に努める団体に対して、引き続き、農業用機械等の購入を支援し、地域農業の活性化の推進を図る。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin-left: 20px;">A</p> <p style="font-size: 0.8em; margin-left: 20px;">A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>各生産組合への補助により、生産の力の向上に一定の成果があったと認められる。引き続きニーズに応じた適正な支援に努めていただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	4	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
畜産振興事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	04	01	畜産振興事業	
担当課・係等					
農政課 振興係					

実施計画整理番号	
301040401	
総合戦略整理番号	

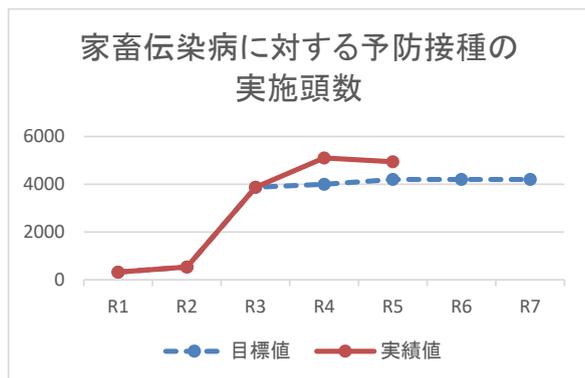
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	畜産の振興を図るとともに、家畜伝染病に対する自主的な防疫活動を推進して畜産経営の安定を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛防疫の一環である予防接種費用に対する補助を行う。 ・畜産団体の運営に対する補助や支援を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

家畜伝染病の予防接種費用や畜産団体の運営に対する補助を行うことで、畜産振興及び経営の安定を図り、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。

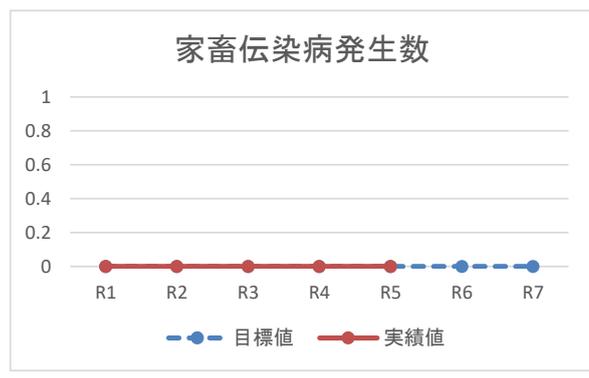
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	557	557	498						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	557	557	498						
	人工数	人	0.23								
	人件費	千円	1,762								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
家畜伝染病に対する予防接種を実施し、自主的な防疫活動の推進に努める。	家畜伝染病に対する予防接種の実施頭数	頭	4,000	4,200	4200	4200
			5,103	4,940		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
家畜伝染病の発生を未然に防ぎ、畜産経営の安定を図る。	家畜伝染病発生数	件	発生を防ぎます	発生を防ぎます	発生を防ぎます	発生を防ぎます
			0	0		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	4	4	畜産振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	04	01	畜産振興事業

整理番号
301040401

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・牛アカバネ病、牛三種混合、豚熱の予防接種に対して支援を行ったことにより、市内において家畜伝染病の発生は確認されなかった。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
<p>A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</p>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>畜産農家の減少に対応するため、畜産振興事業の拡大や家畜伝染病の発生に備えた防除体制を確立する必要がある。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・引き続き、防疫活動や畜産団体に対する補助を行い、畜産経営の安定に努める。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p>A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>防疫活動や畜産団体に対する補助により防除体制の確立に一定の成果があったと認められる。引き続き各支援に努めていただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	5	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
環境にやさしい農業推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	04	01	環境にやさしい農業推進事業	
担当課・係等					
農政課 振興係					

実施計画整理番号	
301040501	
総合戦略整理番号	

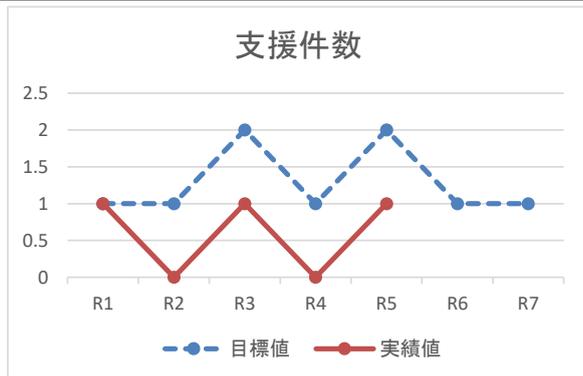
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	農業の持続的発展を図るためエコファーマーの認定促進や有機農業などの環境にやさしい農業を推進する。また、環境負荷の軽減に配慮した営農活動に取り組む農業者団体等の追加的コストを支援し、環境にやさしい農業の推進を図る。	自然環境の保全に資する農業生産活動を実施する生産者や農業者団体に補助金(交付金)を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

農業の持続的発展を行っていくために有機農業や緑肥などの地球環境にやさしい農業への取組をする農家に対して支援を行う。持続可能な農業への取組に協力することにより結果として施策「農業経営の改善」に寄与することができる。

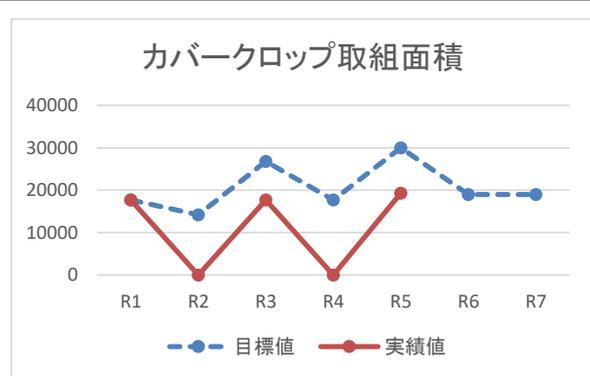
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	120	120	116						
	国補助	千円									
	県補助	千円	90	90	90						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	30	30	26						
	人工数	人	0.18								
	人件費	千円	1,379								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
環境にやさしい農業の推進として、カバークロップに取り組む農家に対して支援を行う。	支援件数	件	目標値	1	2	1	1
			実績値	0	1		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
			カバークロップ取組面積	㎡	目標値	17,700	30,000
環境負荷の軽減に配慮した営農活動を促進することで、農業の持続的発展が図られる。	※カバークロップとは…それ自体は収穫にならないが、土壌侵食防止や土壌改良に役立つ作物。	実績値	0	19,300			

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	4	5	環境にやさしい農業推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	04	01	環境にやさしい農業推進事業

整理番号
301040501

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・令和2年度の要綱改正に伴い、昨年度まで実施要件を充たす事業者がなかったが、令和5年度は1団体が実施することができた。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・みどりの食料システム戦略に位置づけられている事業である「環境保全型農業直接支払交付金」により、環境負荷の軽減に配慮した営農活動に取り組む農業者団体を支援することができた。</p> <p>・令和5年度においては、事業を実施することができたが、取り組み事業者が少ない現状がある。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	①業務の整理・統合・集約化
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>今後も引き続き、事業を行うためにも、事業の必要性を周知するなど、事業の推進に努めていく。</p>	
企画政策課の評価		評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p>	<p>対象事業者への支援を行うことで、農業経営の改善に一定の成果があったと認められる。引き続き事業を推進していただくとともに、取組事業者の増加に向けた周知等施策を検討していただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画						
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名	
3	1	4	6	農林業	農業経営の改善	
実施計画事業名						
有害鳥獣駆除事業						

予算科目						
款	項	目	事	事業名		
5	01	03	08	有害鳥獣駆除事業		
担当課・係等						
農政課 農地保全係						

実施計画整理番号	
301040601	
総合戦略 整理番号	

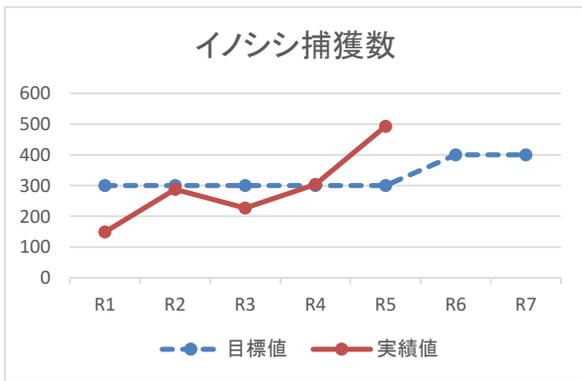
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	有害鳥獣による農作物被害、並びに生活環境の保全及び自然環境を保全するために、駆除や防除を行い、優良農地の保全を図る。 また、捕獲した野生獣の肉・毛皮などを使用した加工品などの副産物化を推進する。	鳥獣被害防止対策推進協議会に、負担金を交付することにより、捕獲や電気柵設置などの有害鳥獣対策を実施する。 加工品などの副産物化について調査研究を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	イノシシをはじめとする有害鳥獣の被害が問題となっており、農家の収穫量の不安定化や営農意欲減退を招いている。有害鳥獣対策を実施することで、農地の掘り起こしや食害による農業被害の軽減が図られ、農家の収益安定につながり、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
			事業費	千円	25,354	25,952	25,917				
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円	9,450	9,450	9,853						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	15,904	16,502	16,064						
	人工数	人	1.9								
	人件費	千円	14,558								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
猟友会や民間業者の鳥獣捕獲業務委託による駆除や電気柵による防除を行うことで、農作物被害の軽減を図る。	イノシシ捕獲数	頭	目標値 300	300	400	400
		実績値 304	493			
	電気柵設置面積	ha	目標値 7.8	7.8	7.8	7.8
		実績値 7.8	7.6			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
鳥獣捕獲による駆除や防除を行うことで、農作物被害を削減するとともに、優良農地の保全を図る。			目標値			
			実績値			

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	4	6	有害鳥獣駆除事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	08	有害鳥獣駆除事業

整理番号
301040601

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・有害鳥獣の捕獲活動として、猟友会及び各従事者、民間業者と連携し鳥獣捕獲業務委託を実施し、令和5年度はイノシシ493頭、ニホンジカ4頭、アライグマ637頭、ハクビシン58頭、タヌキ129頭の合計1,321頭を捕獲した。</p> <p>・電気柵設置事業として、市内農家に対し16件、約7.6haを設置し野生鳥獣による農地への侵入を防除した。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・イノシシ等の大型獣は毎年捕獲数にばらつきがあり、生息数や生息域の特定に至らず完全に農作物被害を無くせてはいない。アライグマ等の小動物については、山林や農地周辺に限らず、住宅地を含む市内全域に生息しており、完全駆除が難しい。</p> <p>・捕獲従事者の高齢化が懸念され、将来的な捕獲従事者の確保が必要である。</p> <p>・民間業者による加工処理施設において、ジビエの普及拡大、販路の確保が喫緊の課題となっている。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・完全駆除に向けて広域的な連携を強化していく。</p> <p>・猟友会との連携により、新規従事者の確保に努める。</p> <p>・民間事業者と協力してジビエの普及に努める。</p>	
企画政策課の評価		評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p>	<p>有害鳥獣対策のための負担金交付による対策の実施により捕獲数が増加しており、農業被害の軽減に一定の成果があったと認められる。引き続き各関係団体と連携し、事業の実施に努めていただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	5	3	農林業	農産物のブランド化と販路拡大
実施計画事業名					
農産物直売所運営支援費					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	07	農産物直売所運営支援費	
担当課・係等					
農政課 振興係					

実施計画整理番号	
301050301	
総合戦略整理番号	12306

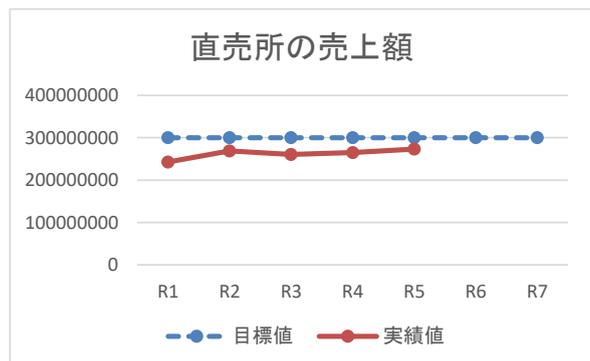
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	消費者に地元で収穫された新鮮で安全安心な農作物を供給する直売所の充実が図られる。併せて、直売所の需要に合わせた少量多品種の農作物生産を推進することで、生産者の所得安定と農業振興が図られる。	安定的な農作物の供給を図るため、直売所の適切な維持管理に努める。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	地元消費者に対し、地元で生産された安心安全な農作物を提供する場として農産物直売所の適切な維持管理を行う。また、さらなる充実を図ることにより、施策「農産物のブランド化と販路拡大」に寄与することができる。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,972	1,972	1,958						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	1,958	1,958	1,958						
	一般財源	千円	14	14							
	人工数	人		0.18							
	人件費	千円		1,379							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
直売所の安定的な運営を支援するため、継続して施設用地の借り上げを実施する。		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
		円	300,000,000	300,000,000	300,000,000	300,000,000
生産者の所得安定と農業振興を図る。	直売所の売上額	目標値	300,000,000	300,000,000	300,000,000	300,000,000
		実績値	265,037,104	273,173,622		

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	5	3	農産物直売所運営支援費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	07	農産物直売所運営支援費

整理番号
301050301

課題抽出(CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・直売所施設用地を借り上げるにより、直売所の安定的な運営を支援した。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
<p>A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</p>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・昨年5月に新型コロナウイルス感染症が感染法上の5類相当となり、様々な規制が緩和されたことから、人流も戻り、コロナ禍前の賑わいも戻ってきており、売上が伸びている。</p>			

今後の方向性(ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・引き続き直売所の運営を支援するとともに、来場者アンケート等により、商品の品質や、品ぞろえ等、来場者のニーズを把握し、直売所の売上の向上、ひいては生産者の所得安定と農業振興を図っていく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>直売所の維持管理により、農業振興に一定の成果があったと認められる。引き続き適切な維持管理を行うとともに、売り上げの向上に寄与する施策の検討に努めていただきたい。</p>	

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	5	4	農林業	農産物のブランド化と販路拡大
実施計画事業名					
茂原六斎市再活性化事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	10	茂原六斎市再活性化事業	
担当課・係等					
農政課 振興係					

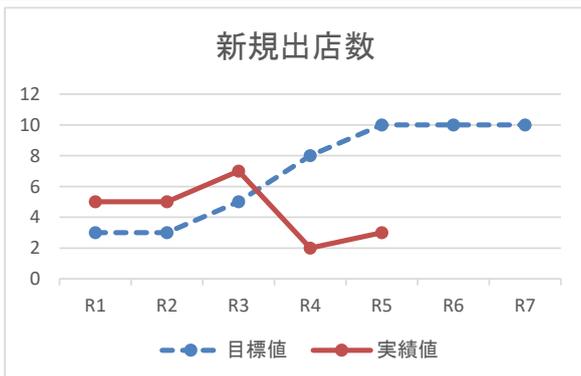
実施計画整理番号	
301050401	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
		茂原六斎市再活性化協議会が実施する様々な活動やイベント等により、歴史ある茂原六斎市の再活性化が図られる。農業者による新鮮野菜等の新たな販路となることで農業生産を豊かなものにする。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	農業振興や、農業者の販路の一つとなるとともに、歴史と伝統ある「市」が、本市で行われていることで、地域活性化にもつながる。「市」の再活性化を支援することで、地域活性化につながり、ひいては施策「農産物のブランド化と販路拡大」に寄与している。	

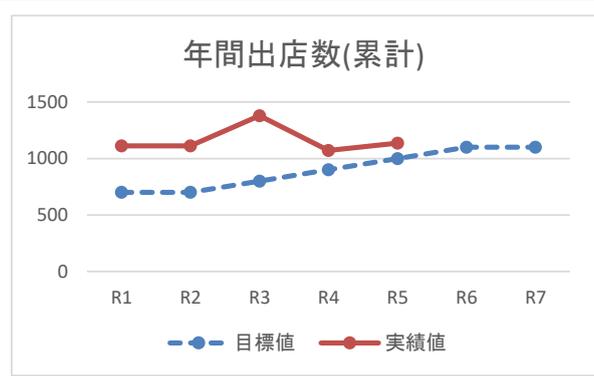
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	0	0	0						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	0	0	0						
	人工数	人	0.18								
	人件費	千円	1,379								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
六斎市の認知度向上を目指し、イベントの実施などでPRを行う。	新規出店数	店	目標値 8	10	10	10
			実績値 2	3		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
「市」が再活性化されるとともに、新たな販路拡大により農業者の意欲向上が図られる。	年間出店数(累計)	店	目標値 900	1,000	1,100	1,100
			実績値 1,071	1,135		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	5	4	茂原六斎市再活性化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	10	茂原六斎市再活性化事業

整理番号
301050401

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> 茂原六斎市の再活性を図るためにも、「市」が江戸時代から続くといわれる伝統ある「市」であることなど、改めて認知度を向上させるために、「市」をPRする横断幕を市役所ロビーに設置した。 茂原六斎市 & マルシェを、市民広場にて開催し、以前のマルシェの形式にて行ったことにより、多くの来場者が訪れ、再活性化をPRした。 若い世代に六斎市を知ってもらうため、昨年度に引き続き、茂原樟陽高校の生徒も参加し、野菜の販売協力を行った。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> 新規出店は増えているものの、出店者の高齢化が進んでいる。 茂原樟陽高校生徒の出店は、若い世代への継承を図るためにも、良い機会となった。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> 六斎市の認知度を向上させ、更なる再活性化を図るためにも、茂原六斎市 & マルシェを、他のイベントと連携した開催を検討していく。 若い世代の出店者を増やすためにも、市内高校等、他団体との連携を図り、取り組んで行く。 	
企画政策課の評価	評価理由
<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	PR等の施策により出店数の増加が見られ、「市」の再活性化に一定の成果があったと認められる。効果的な周知や各種団体との連携により、出店者の増加、ひいてはイベントの活性化に繋がるよう努めていただきたい。

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	6	1	農林業	林業の振興
実施計画事業名					
森林整備事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	01	02	森林整備事業	
担当課・係等					
農政課 農地保全係					

実施計画整理番号	
301060101	
総合戦略整理番号	

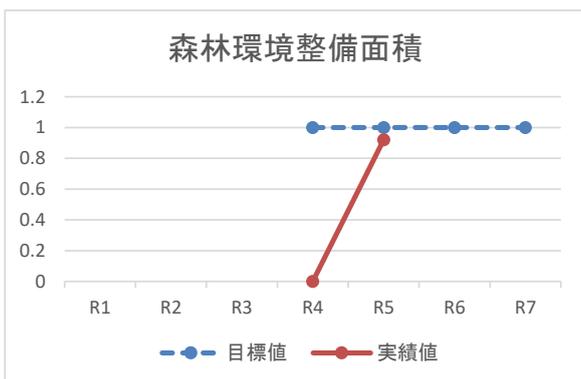
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
		森林環境譲与税を活用し、市内民有林の適切な保育・管理を行い、土砂災害の防止など森林のもつ公益的機能の向上とともに里山の保全が図られる。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	市内人工林において、近年では整備の行き届いていない放置森林が増加し、整備を行う必要がある。森林環境譲与税を活用し土砂災害の防止など、森林の持つ公益的機能の保全に向けた森林整備、森林と林道の計画的な整備を行うことで、ひいては施策「林業の振興」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	11,839	11,839	11,866						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	11,820	11,820	11,847						
	一般財源	千円	19	19	19						
	人工数	人		1.2							
	人件費	千円		9,195							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
令和3年度に策定した森林環境整備基本計画を基に、森林環境整備業務委託を行い、市内人工林の整備を実施する。	森林環境整備面積	h	1	1	1	1
		a		0.92		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市内人工林の適切な管理・保全が行え、森林の持つ公益的機能が発揮される。		目				
		実				

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	6	1	森林整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	01	02	森林整備事業

整理番号
301060101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・令和3年度に策定した森林環境整備基本計画及び、令和4年度に実施した森林環境整備意向調査業務委託結果に基づき、茂原市萱場地区と法目地区の2か所の森林(面積計0.92ha)において、伐採及び木材の搬出を内容とした業務委託を実施した。また、県産材の木材を利用した消毒ポール6台、木製ベンチ4台、サイクルラック1台を購入し公共施設に設置した。</p> <p>・次年度以降の森林環境整備を目的とした茂原市森林環境整備基金へ積立てを実施した。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・市内森林の現況把握ができておらず、手入れのされていない森林が多い状況にある。</p> <p>・風倒木により災害の危険のある区域についても、その詳細は把握していないため、民間企業と連携し、データ管理を行う必要性が求められる。</p> <p>・意向調査業務で間伐・植栽といった整備を市が実施することに同意を得られた箇所の間伐業務を実施するための調査・設計に時間を要する。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・森林環境譲与税を活用し、計画的な森林環境整備を優先順位に基づき実施していく。</p> <p>・設計業務委託を実施することで、職員の事務の負担軽減や効率化を図っていく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>森林整備計画の委託により、林業の振興に一定の成果があったと認められる。引き続き、森林環境譲与税の適正な活用に努めていただくとともに、事務の効率化について検討していただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	1	2	商工業・中小企業	商業基盤の整備
実施計画事業名					
商業振興対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	04	商業振興対策事業	
担当課・係等					
商工観光課 経済振興係					

実施計画整理番号	
302010201	
総合戦略整理番号	12201

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街が共同で実施するソフト事業や施設整備を支援し、中心市街地の活気と賑わいを創出する。 ・商店街及び商業事業者を支援することで、本市の商業機能を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街が共同で実施する空き店舗対策等を支援する。 ・商店街が共同で設置する駐車場や街路灯などの施設に係る費用負担を軽減する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

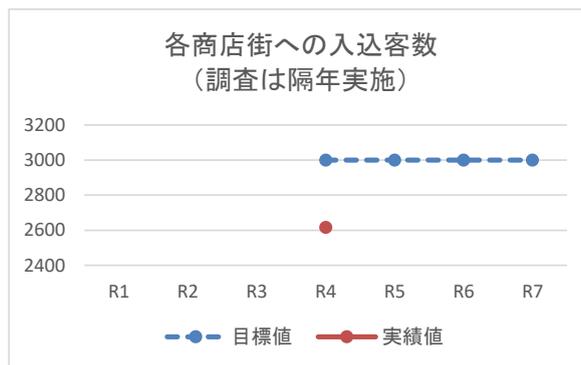
商店街の環境整備や商業機能の充実にに向けた取り組みを支援することにより、ひいては施策「商業基盤の整備」に寄与する

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	873	873	873						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	873	873	873						
	人工数	人	0.25								
	人件費	千円	1,915								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
商店街の環境整備や商業機能の充実にに向けた取り組みに対し支援を行う	各商店街等へのニーズに応じた支援	目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
		目標値	3,000	3,000	3,000	3,000
まちの活気とにぎわいを創出する	各商店街への入込客数(調査は隔年実施)	人	実績値	2,617	-	

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	2	1	2	商業振興対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	04	商業振興対策事業

整理番号
302010201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> 共同施設の維持管理事業において商店街を支援し、安全・安心な商店街の形成に寄与した。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> 組織が弱体化し、共同施設の維持管理が難しくなっている。 商店街の賑わいが減少傾向にある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	①業務の整理・統合・集約化
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> 空き店舗の活用など、商店街の賑わいにつながる方策を検討する。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	共同施設の維持管理に対する支援により、商店街の環境整備に一定の成果があったと認められる。商店街のニーズの把握に努め、商店街の賑わいに繋がる方策の検討に努めていただきたい。

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	2	1	商工業・中小企業	工業の振興
実施計画事業名					
企業立地促進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	06	企業立地促進事業	
担当課・係等					
商工観光課 経済振興係					

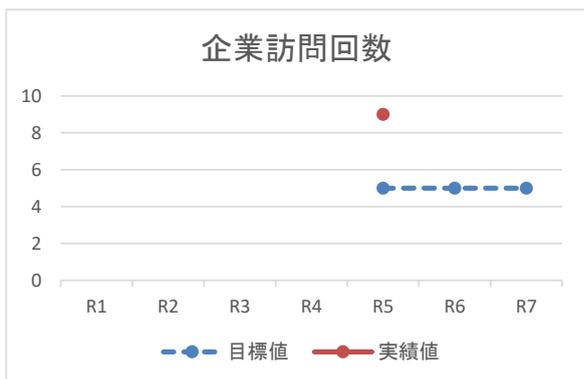
実施計画整理番号	
302020101	
総合戦略整理番号	11101

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
事務事業の概要 (PLAN)	・企業立地を促進し、本市における就業機会の拡大、定住人口の増加を図る。	・企業動向を踏まえた効果的かつ効率的な企業訪問を実施する。 ・進出した指定事業者に対し奨励金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	産業構造が大きく変化している中、新たな産業に対応した企業誘致の推進により地域全体の産業競争力を高め、ひいては施策「工業の振興」に寄与する。	

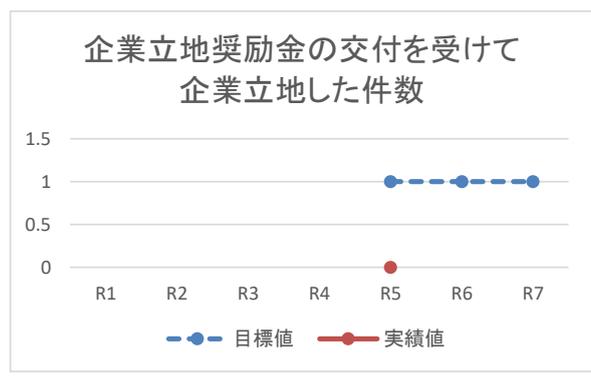
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
			事業費	千円	50,406	406	13				
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	50,406	406	13						
	人工数	人		1.2							
	人件費	千円		9,194							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
企業動向を踏まえた効果的かつ効率的な企業訪問を実施する。	企業訪問回数	回		5	5	5
				9		
成果	成果指標	単位				
		件		1	1	1
企業立地を促進し、本市における就業機会の拡大、定住人口の増加を図る。	企業立地奨励金の交付を受けて企業立地した件数	件		0		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	2	2	1	企業立地促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	06	企業立地促進事業

整理番号
302020101

課題抽出(CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・企業訪問や企業誘致セミナー等の参加により情報収集を行った。
- ・企業立地奨励金については、指定事業者が市内事業所を廃止したため、交付を行わなかった。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・企業ニーズについて情報収集の必要性がある。

今後の方向性(ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・進出企業のニーズを積極的に収集する。

企画政策課の評価	評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当

企業訪問等による情報収集に努めていただいているところであるが、企業立地に繋がるよう、企業のニーズを踏まえた事業の検討に努めていただきたい。

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	2	2	商工業・中小企業	工業の振興
実施計画事業名					
産業育成促進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	08	ちば共創都市圏広域連携協議会共同事業	
担当課・係等					
商工観光課 経済振興係					

実施計画整理番号	
302020201	
総合戦略整理番号	12101

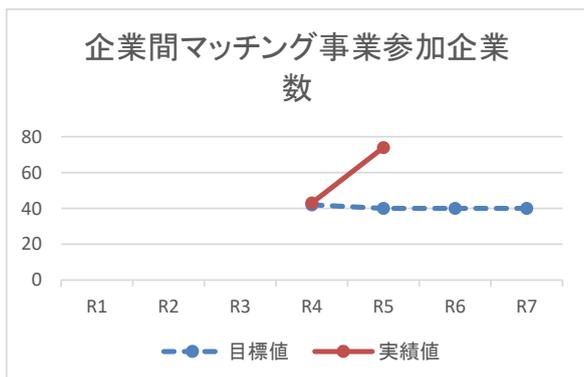
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>・千葉県以東、以南の周辺都市との広域連携により産業人材の育成や企業立地などを促進し、持続可能な都市、地域社会の形成を推進する。</p>	<p>・ちば共創都市圏広域連携協議会(千葉市、市原市、茂原市、大網白里市、東金市、四街道市)の事業として圏域内企業の優れた技術や製品等を紹介する。 ・中学生向けのパンフレット等を作成し、ものづくりや地元へ関心を持つよう促す。 ・既存企業のマッチングによる販路拡大や技術交流等を図る。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

千葉県以東・以南の周辺都市との広域連携により産業人材の育成や企業立地などを促進し、ひいては施策「工業の振興」に寄与する。

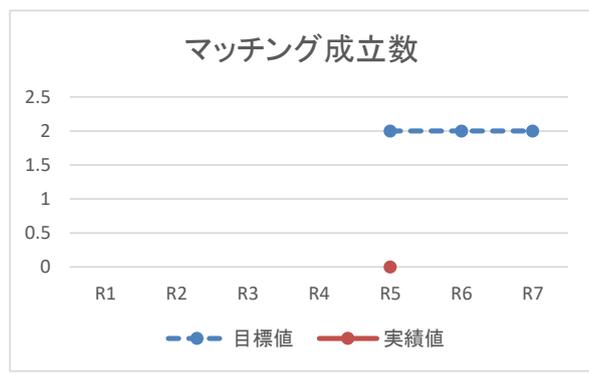
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	407	407	385						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	407	407	385						
	人工数	人	0.3								
	人件費	千円	2,298								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
圏域内企業の優れた技術や製品等の紹介及び既存企業のマッチングによる販路拡大や技術交流等を図る。	企業間マッチング事業参加企業数	社	42	40	40	40
		実績値	43	74		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
千葉県以東、以南の周辺都市との広域連携により産業人材の育成や企業立地などを促進し、持続可能な都市、地域社会の形成を推進する。	マッチング成立数	件		2	2	2
		実績値		0		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	2	2	2	産業育成促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	08	ちば共創都市圏広域連携協議会共同事業

整理番号
302020201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> 千葉市、市原市、四街道市と連携して、中学生向けのパンフレットを作成し、ものづくりや地元企業に関心を持つよう促した。 千葉市、市原市、東金市と連携して、「食とSDGs」をテーマに関連事業者のマッチングイベントを実施した。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> マッチングイベントは盛況であり、市内企業に興味を持つ参加者もいたが、マッチングには至らなかった。 令和6、7年度は3か年内示額が0査定であるため、事業継続の検討が必要である。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> 更なる集客に努め、マッチングの成立につなげる。 引き続きちば共創都市圏共同事業に参加できるように、予算の確保に努める。 	
企画政策課の評価	評価理由
<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	企業間マッチングへの参加企業数は目標を上回っており、企業立地の促進等に一定の成果があったと認められる。引き続き、限られた予算の中で行える施策の検討に努めていただきたい。

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	3	1	商工業・中小企業	中小企業の支援
実施計画事業名					
商工団体支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	05	商工団体支援事業	
担当課・係等					
商工観光課 経済振興係					

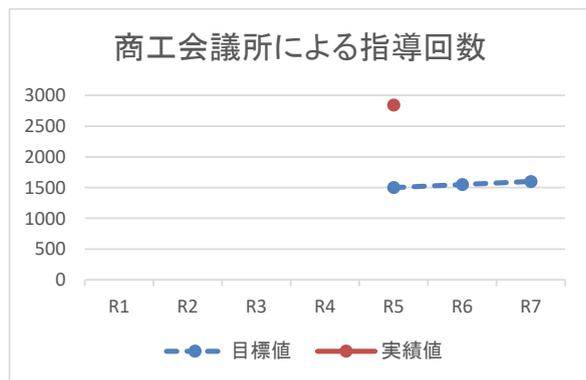
実施計画整理番号	
302030101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
事務事業の概要 (PLAN)	<p>・商工業振興のための事業や小規模事業者の経営又は技術の改善発達のための事業を通じ、中小企業の経営の近代化と地域産業の活性化を図る。</p>	<p>・茂原商工会議所が実施する商工業発展のための事業及び小規模事業者の経営又は技術の改善発達のための事業に対し補助金を交付する。 ・県内商工団体に加盟し、指定団地の高度化、県内経済に関する情報収集、他団体との連携を図る。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	商工業振興のための事業を展開する商工会議所への支援を通じ、市内商工業者・小規模事業者の振興を図り、ひいては施策「中小企業の支援」に寄与する。	

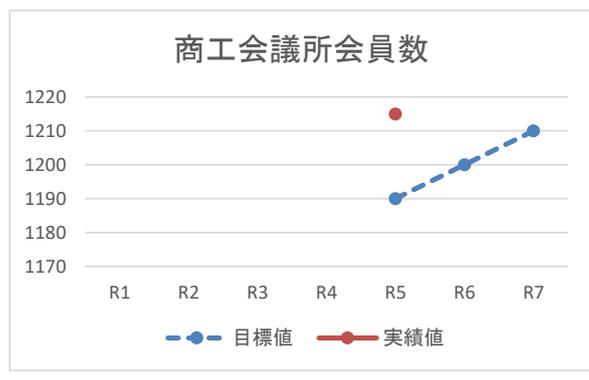
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	8,893	8,893	8,891						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	8,893	8,893	8,891						
	人工数	人		0.25							
	人件費	千円		1,915							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
商工業振興のための事業を展開する商工会議所への支援を行う	商工会議所による指導回数	回	目標値	1,500	1,550	1,600	
		実績値		2,844			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
							者
				実績値	1,215		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	2	3	1	商工団体支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	05	商工団体支援事業

整理番号
302030101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・茂原商工会議所が行う商工業支援のための事業を支援した。 ・茂原商工会議所が行う小規模事業者の経営や技術の改善や発展のための事業を支援した。 ・千葉県指定団地協議会や千葉県経済協議会に参加し、連携を図った。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰などの状況に対応した経営支援に向けて、さらに茂原商工会議所と連携していく必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>引き続き茂原商工会議所の事業を支援し、市内商工事業者の振興を図るとともに、より効果的な事業となるよう連携していく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>商工会議所への支援により、市内事業者の振興に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援に努めるとともに、商工会議所との更なる連携を図っていただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	3	2	商工業・中小企業	中小企業の支援
実施計画事業名					
中小事業者サポート事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	02	中小企業者等振興総合支援事業	
担当課・係等					
商工観光課 経済振興係					

実施計画整理番号	
302030201	
総合戦略整理番号	12102

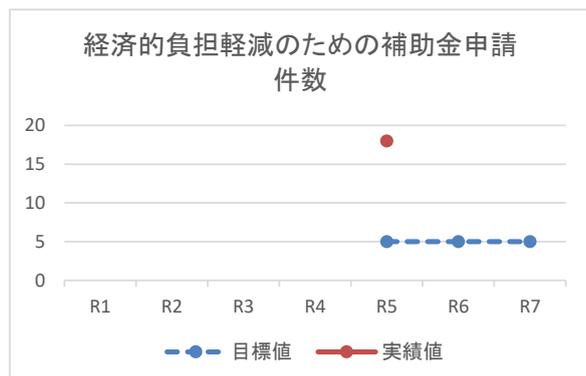
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<ul style="list-style-type: none"> 市内中小企業の経営向上を目指した取り組みを支援し、事業活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業が取り組む幅広い分野における事業活動の活発化に向け、包括的に補助金を交付し、経済的負担を軽減する。 必要に応じたメニューの見直し等を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

中小企業者が取り組む販路拡大、人材確保・育成などのついて総合的な支援を行うことにより、持続的な成長や振興を図り、ひいては施策「中小企業の支援」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,309	2,309	2,198						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,309	2,309	2,198						
	人工数	人	0.35								
	人件費	千円	2,681								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市内中小企業の経営向上を目指した取り組みを支援。	経済的負担軽減のための補助金申請件数	目標値		5	5	5
		実績値		18		
成果	成果指標	目標値		80	80	80
		実績値		32		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	2	3	2	中小事業者サポート事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	02	中小企業者等振興総合支援事業

整理番号
302030201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市中小事業者サポート補助金を支給することにより、事業者の経済的負担を軽減し、事業活動を支援した。 ・小学校高学年とその保護者を対象に工場見学会を実施し、市内工業の大切さや面白さを直に感じてもらうことができた。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・利用メニューに偏りがあり、活用されていないメニューがある。 ・制度利用者希望者が増加しており、更なる予算の確保が必要である。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者のニーズを把握し、メニューの改善を図る。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	補助金の交付等により、中小企業の支援に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援に努めるとともに、事業者のニーズに応じたメニューの検討に努めていただきたい。

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	3	3	商工業・中小企業	中小企業の支援
実施計画事業名					
中小企業資金融資事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	01	中小企業資金融資事業	
担当課・係等					
商工観光課 経済振興係					

実施計画整理番号	
302030301	
総合戦略整理番号	

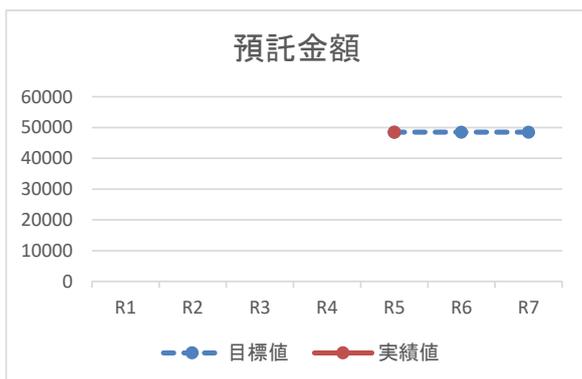
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<ul style="list-style-type: none"> 大企業に比べ資金調達面で多くの不利益を抱えた中小企業が、事業資金の融資を円滑に受けられるようにすることで中小企業の振興と経営の安定化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内5行11支店の金融機関及び商工組合中央金庫千葉支店に資金を預託し、中小企業への資金融資を行う。 茂原市制度融資利用者及び日本政策金融公庫小規模等経営改善資金融資制度利用者に対し、利子補給を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

中小企業が事業上必要な資金を円滑に融資することにより、企業の振興と経営の安定化を図り、ひいては施策「中小企業の支援」に寄与する。

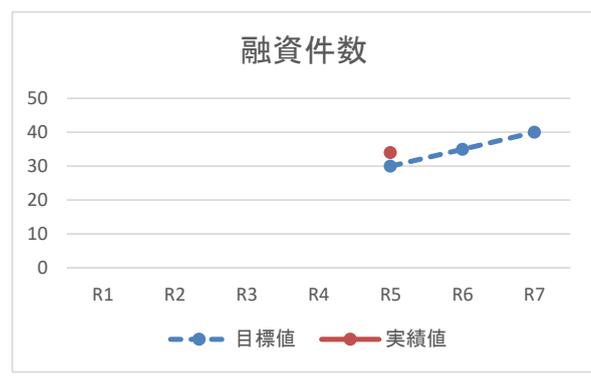
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	500,240	500,240	493,998					
国補助		千円									
県補助		千円									
市債		千円									
その他		千円	485,000	485,000	485,000						
一般財源		千円	15,240	15,240	8,998						
人工数	人	0.6									
人件費	千円	4,597									

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
<ul style="list-style-type: none"> 市内5行11支店の金融機関に資金を預託し、中小企業への資金融資を行う。 茂原市制度融資利用者及び日本政策金融公庫小規模等経営改善資金融資制度利用者に対し、利子補給を行う。 	預託金額	千円		48,500	48,500	48,500
				48,500		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
企業の振興と経営の安定化を図る。	融資件数	件		30	35	40
				34		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	2	3	3	中小企業資金融資事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	01	中小企業資金融資事業

整理番号
302030301

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市中小企業融資制度の原資として、市内金融機関に預託を行った。 ・茂原市中小企業融資制度の利用者に対して、利子補給を行った。 ・日本政策金融公庫小規模事業者経営改善資金融資制度(マル経)の利用者に対し利子補給を行った。 ・台風13号の接近に伴う大雨災害の復旧に要する融資を受けた被災事業者に対し、信用保証料の助成を行った。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・金利上昇の傾向があることから、事業者が利用しやすい融資制度とするため、預託額や融資枠、利率等について検討の必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き融資及び利子補給により、中小企業者等の安定した資金調達、経営の安定と振興を図る。 ・預託額や融資枠、利率等について金融機関と協議を行っていく。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	
資金融資等により、中小企業の支援に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援を行っていただくとともに、現状、ニーズの把握に努めていただき、内容の検討に努めていただきたい。		

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	3	4	商工業・中小企業	中小企業の支援
実施計画事業名					
起業・創業支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	03	起業・創業支援事業	
担当課・係等					
商工観光課 経済振興係					

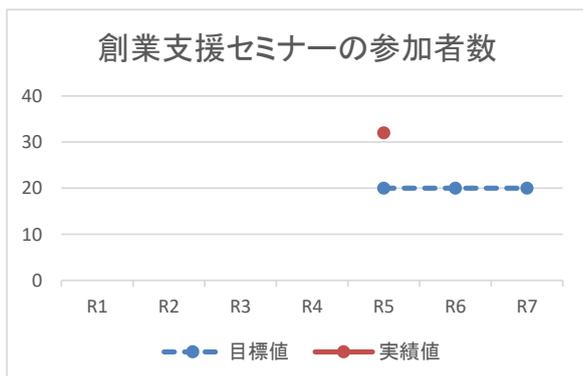
実施計画整理番号	
302030401	
総合戦略整理番号	11201

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
事務事業の概要 (PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市創業支援等事業計画に基づき、潜在的な創業希望者を掘り起こすとともに、本市における創業機運を醸成する。 ・創業者・創業希望者を対象に、創業における基礎的な知識から実践的な知識の習得を図る。また、創業者・創業希望者の交流機会を創出し、新たなネットワークを構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業・創業希望者に対して起業・創業の各段階に応じた継続的な支援を、商工会議所などの関係機関との連携強化及び相談窓口のワンストップ化などにより行う。 ・市内で起業・創業する者に対し、起業・創業時の経済的負担の軽減を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	起業・創業希望者に対し学ぶ機会を確保することにより起業・創業の機運を高め、ひいては施策「中小企業の支援」に寄与する。	

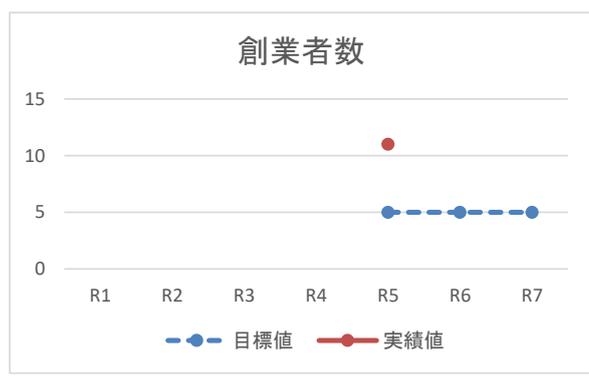
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
			事業費	千円	2,757	2,757	2,100				
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,757	2,757	2,100						
	人工数	人		0.45							
	人件費	千円		3,447							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
・茂原商工会議所が開催する創業支援セミナーを支援する。 ・新規創業者に対し補助金を交付することで経済的な負担軽減を図る。 ・各種媒体を活用し、創業支援制度のPRIに努める。	創業支援セミナーの参加者数	人	目標値	20	20	20
			実績値	32		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
			5	5	5	
創業者を支援することで本市における開業率を向上させ、地域の活性化、雇用の確保を図る。	創業者数	件	目標値	5	5	5
			実績値	11		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	2	3	4	起業・創業支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	03	起業・創業支援事業

整理番号
302030401

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市創業支援等事業計画に基づき、茂原商工会議所が開催した「茂原創業塾」の支援を行った。 ・茂原市創業支援補助金を新規創業者5者に支給することにより、経済的に事業活動を支援した。 ・コロナ禍により開催していなかった「起業家交流会」を4年ぶりに開催し、事業者間の交流を図ることができた。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年一定数の創業者が出ているが、「茂原創業塾」を修了した人数と比較すると少ない人数であった。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・創業に至らなかった者の理由を分析し、創業につながる支援を検討する。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 創業支援セミナーの参加者数・創業者数ともに目標値を上回っており、企業・創業の機運向上に一定の成果があったと認められる。引き続き支援に努めていただくとともに、創業に繋がる施策の検討に努めていただきたい。	

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
3	3	1	1	シティプロモーション
実施計画事業名				
観光振興事業				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	03	01	観光振興事業
担当課・係等				
商工観光課 観光係				

実施計画整理番号	
303010101	
総合戦略整理番号	32101

事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	・観光イベントの充実と広域連携による観光資源の整備により、まちの魅力を向上させるとともに効果的に情報発信することで、年間を通じて本市を訪れる観光客の増加を図る。 また、マスコットキャラクター「モバリん」を活用し、本市のPR活動を実施することで、地域住民の郷土愛の醸成と域外での知名度を向上させ、地域振興を図る。	・茂原七夕まつり実行委員会、茂原市観光協会、茂原秋まつり運営協議会への補助金の交付。 ・観光ガイドブックやスマートフォン用観光アプリ、観光大使の活用によるまちの魅力発信。 ・各種関連団体への負担金の拠出。 ・マスコットキャラクターデザインの使用促進。 ・本市の認知向上のためイベントに参加する。 ・着ぐるみの利用促進。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

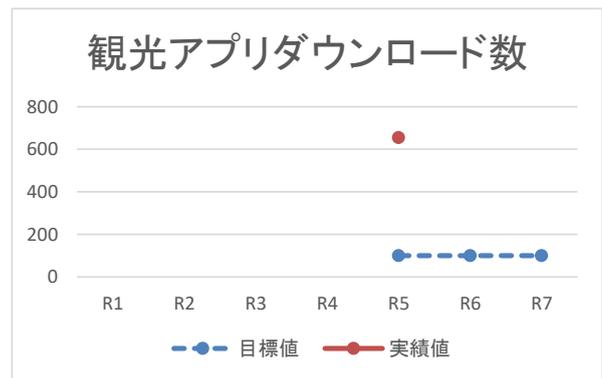
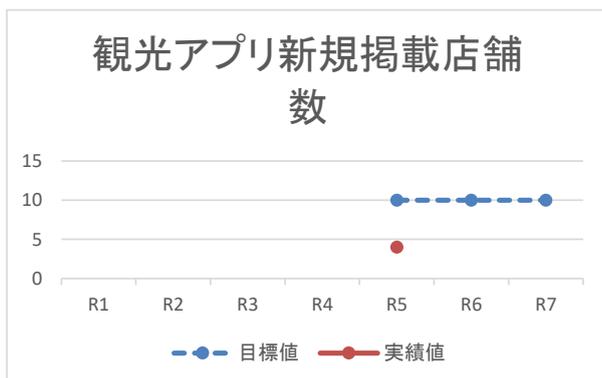
近年大量に集客する観光から個人のニーズを大切にする観光に変化しており、またコロナ禍による新しい生活様式に対応した「安全・安心」の観光へと急速に変化を求められている。個人趣向も複雑になっており、個性ある地域がこれから脚光を浴びる時代になった。新たな観光資源の開発、磨き上げを行うことで施策「観光資源の整備」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	18,711	18,711	17,844						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	41	41	29						
	一般財源	千円	18,670	18,670	17,815						
	人工数	人	1.9								
	人件費	千円	14,557								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
・茂原市観光協会と協働し、本市の魅力を伝えるためのターゲットニーズに応えることのできる新しい観光パンフレット配架に加え、DXに対応したスマホによる観光アプリの利用者増加を図る。 ・モバリんのイベントへの積極的な参加	観光アプリ新規掲載店舗数	店	目標値 実績値	10 4	10	10
	モバリん出演回数	回	目標値 実績値	50 48	50	50
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
・本市周辺だけではなく、広範囲に向けた効果的な情報発信による観光客誘致を図り、地域経済の活性化につなげる。	観光アプリダウンロード数	回	目標値 実績値	100 655	100	100

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	3	1	1	観光振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	03	01	観光振興事業

整理番号
303010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・観光パンフレット、観光アプリの内容、運用方法を見直し、効果的な情報発信に努めた。
- ・観光イベントで観光アプリのダウンロードキャンペーンを行い、ダウンロード数を増加させた。
- ・新型コロナウイルス感染拡大により中止にしていた夏の七夕まつりを4年ぶりに開催し、例年以上に多くの人出で賑わい、関東屈指の夏まつりにふさわしく盛大なものとなった。
- ・JR東日本千葉支社と連携し、ハイキングイベント「駅からハイキング」を開催し641人の参加があった。
- ・市内交通事業者と協力し、2階建ての屋根のないオープンバスを運行させ、市内の工業団地や自然環境、歴史遺産など地域の特色ある資源を巡るツアーを開催し1,026人の参加があった。
- ・旅行会社と協力し、市内の産業やロケ地を巡るインバウンドを対象したモニターツアーを開催した。
- ・各種イベントでモバリんの着ぐるみを活用し、市のPR活動を行った。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・イベントの開催方法や情報発信については、現状分析を行い、社会情勢の変化やニーズに合わせた検討を行う必要がある。
- ・市内の産業を観光コンテンツとする場合、企業の協力を得ることが難しいため、新たな観光コンテンツの作成が必要となる。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・観光客に関するデータ収集、蓄積を行い、ニーズの把握及び効果的な情報発信を行うことで、効率的に観光客の誘致を行う。
- ・歴史、文化資源など新たな観光資源の発掘を行い、活用に向けた検討を行う。

企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>観光アプリダウンロード数は目標値を大きく上回っており、また各種イベントを行ったこともあり、観光振興に一定の成果があったと認められる。引き続きイベントの開催及び情報発信に努めていただくとともに、時代に即した効果的なPRの検討に努めていただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	3	1	1	シティプロモーション	観光資源の整備
実施計画事業名					
ロケツーリズム事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	03	03	ロケツーリズム事業	
担当課・係等					
商工観光課 観光係					

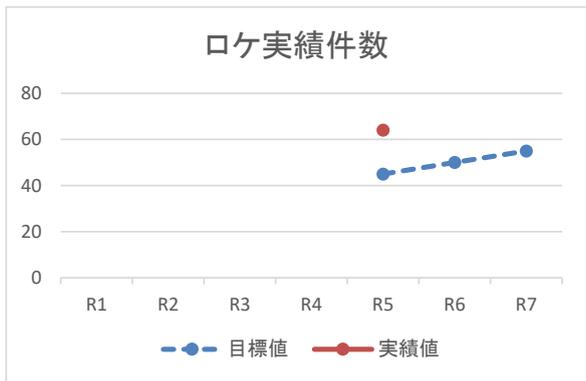
実施計画整理番号	
303030101	
総合戦略整理番号	32305

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	人口減少や高齢化が急速に進む中、地方都市の生き残りに向けた取り組みが大きく注目されている。そこで、地域のもつ魅力を戦略的にアピールをし、市の認知度や市民の地域に対する愛着度を高め、選ばれるまちとして関係人口・交流人口・定住人口の増加を図る。また、地域経済の活性化を図る。	平成30年度に策定したシティプロモーションの基本方針の考え方を引き継ぎ、地域の持つ資源の再認識や活用を行政だけでなく、市民や事業者と一体となり取り組む。その方法として映画やテレビドラマ等の撮影支援を活かしたロケツーリズムを通じたまちづくりを推進する。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	様々な市民や事業者の参画を得ながらロケツーリズムを通じた観光振興により施策「観光資源の整備」に寄与する。	

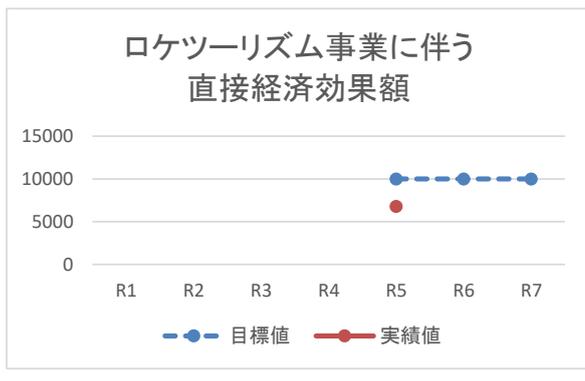
投入される行政コスト（DO）	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	9,147	9,147	9,130						
	国補助	千円	4,500	4,500	4,500						
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	4,647	4,647	4,630						
	人工数	人	1.9								
	人件費	千円	14,557								

手段（DO）	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
映画やテレビドラマ等の撮影支援を活かし、新たな観光資源の開発を行う。	ロケ実績件数	件	目標値	45	50	55
		実績値		64		
	宿泊者数	人	目標値	70000		
		実績値		79,500		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
ロケ受け入れだけでなく、ロケ地の観光資源化による観光業の活性化、市の認知度や市民の地域に対する愛着度を高め、地域経済の活性化を図る。	ロケツーリズム事業に伴う直接経済効果額	千円	目標値	10,000	10,000	10,000
		実績値		6,300		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	3	1	1	ロケツーリズム事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	03	03	ロケツーリズム事業

整理番号
303030101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・市内商業施設、図書館、海ほたるパーキングエリアで、市内で撮影された映画やドラマの小道具やパネルなどの展示を行い多くの来場者があった。 ・ロケツーリズム事業については、撮影問合せ件数249件、撮影決定件数64件となり、宿泊やロケ弁当など、市内で消費された直接経済効果は630万円となった。 ・エキストラ、シンポジウムなどに多くの市民が参加した。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ロケ地の不足により、撮影支援の全ての要望に応えられていない。 ・PRなどをする際に、撮影支援をした一部の作品に依存している。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・新たなロケ地の発掘を行う。 ・人材育成を行うことで、大きな作品の受入れ体制を強化する。 	
企画政策課の評価	評価理由
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 0;">A</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">映画やテレビドラマ等の撮影支援により、ロケツーリズムを通じた観光振興に一定の効果があったと認められる。引き続きロケの受け入れを行っていただくとともに、より効果的なPR方法について検討していただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	4	1	2	雇用	雇用の充実
実施計画事業名					
労政対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	01	02	労政対策事業	
担当課・係等					
商工観光課 経済振興係					

実施計画整理番号	
304010201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<ul style="list-style-type: none"> 勤労者に対する福祉事業の支援と厚生資金の円滑な融資により、豊かでゆとりのある生活の実現を目指す。 事業者においてテレワークを推進している中、安心して利用できるテレワーク環境を整備し、多様な働き方を支援することを目的とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 勤労者のための各種福祉対策事業を実施している長生茂原地区労働者福祉協議会(労福協)に補助金を交付する。 市庁舎1階のレストラン(旧アゼリア)の厨房機器を撤去し、ウイズコロナ、アフターコロナを見据えた様々な用途に利用できるフリースペースとして整備することを進めている。そのフリースペースに快適なインターネット環境やオンライン会議に対応できる無線LAN環境及びコワーキングス
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

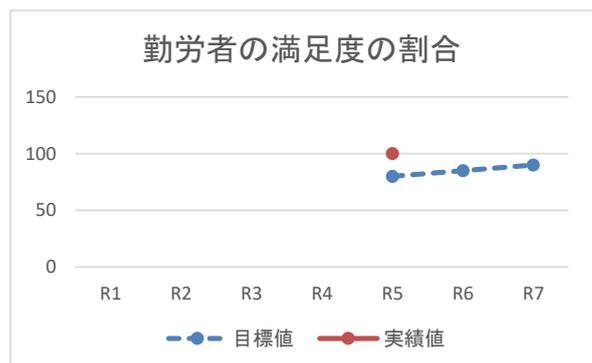
・労福協の開催するレクリエーションや文化活動による、茂原市に居住または勤務する労働者や家族の福祉増進や、多様な働き方に対応できる環境の整備により、施策「雇用の充実」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	261	261	261						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	261	261	261						
	人工数	人	0.4								
	人件費	千円	3,064								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
<ul style="list-style-type: none"> 勤労者及び家族の福祉増進につながるレクリエーションや文化活動のための補助金交付 多様な働き方に対応できるテレワーク環境の整備 			目標値			
			実績値			
成果 <ul style="list-style-type: none"> 勤労者の経済的・社会的・文化的満足度の向上 働く場所にとらわれない、柔軟で誰もが活躍できる社会の実現的満足度の向上 	勤労者の満足度の割合	%	目標値	80	85	90
			実績値	100		

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	4	1	2	労政対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	01	02	労政対策事業

整理番号
304010201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> 千葉労働局茂原公共職業安定所と連携し、再就職希望者を対象とした相談会を開催した。 長生茂原地区労働者福祉協議会が実施する福祉活動を支援した。 市役所1階に設置したワーキングスペースの無線LAN環境の整備・管理を行い、多様な働き方を支援した。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> 長生茂原地区労働者福祉協議会の活動への参加者が少ない。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> 市内に勤務または居住する労働者がより多く参加するよう、積極的な広報活動を協議する。 	
企画政策課の評価	評価理由
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	<p>勤労者に対する各種施策・環境整備により、勤労者の満足度向上に一定の成果があったと認められる。引き続き勤労者の満足度向上に与する各種施策を行っていただくとともに、効果的な周知方法について検討していただきたい。</p>